

# 第1回昇竜杯

2009年1月25日 愛知県豊田市

三河オリエンテーリングクラブが新しいタイプの大会を立ち上げた。

第1回昇竜杯 2009年1月25日  
愛知県豊田市

## 参加クラス自動決定システム

オリエンテーリングは時間を競う競技であるが、ランニングに比べ、迷うという要素が含まれるオリエンテーリングは速い人、遅い人の差が大きい上、事故にもつながりかねないところから、性別、年齢別、能力別にいくつかのクラスに分けられ、それぞれの能力にあったコースが与えられて実施されることが、一般的であり、競技規則にもなっている。

その弊害として、クラスを越えた人との比較ができないという欠点があり、楽しみをひとつ減らしているのが現状である。

能力を成績によっていくつかのランクに区分けした。第1回は自己申告であるが、大会を重ねるごとに昇格・降格を繰り返し、徐々に整理されていくはずだ。



昇竜杯もスタート

## 世界選手権の森

第1回大会の参加者を募集したところ、東海地方を中心に、北陸、関西、関東から125名の申し込みがあった。

WOC2005 スプリントの会場となった愛知昭和の森を使い、更衣室は交流館付附属棟を使わせていただいた。幸い好天でストーブをつかわなくても十分過ごせた。

コースはミドルの設定であるが地図はスプリント仕様だ。

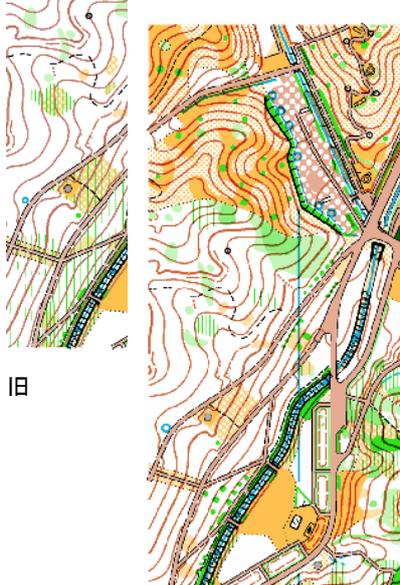
地図の修正は予定していなかったが、コースセッターの松澤さんから、調査を依頼されて、現地を歩いてみると、

季節のせいもあり、2005年夏とは植生に変化が生じていた。

草がすっかり刈られ走行可能度が改善されていた箇所もあった。さすがWOCに使ったものだけに大きな修正はなかった。



昇竜杯はアップダウンがあります



旧

新



昇竜杯にフィニッシュなし

## これから育つ大会

今後も1月下旬の日曜日を固定し、愛知公園協会の管理されている愛知こどもの国や森林公園などを回しながら開催していく予定である。ただし、昇格・降格を早めるためもっと回数を増やして欲しい、という声もいくつか聞いており、夏の開催も検討している。一所懸命に育てていきますのでご支援ください。

(小野盛光)



昇竜杯を手にした椋山女子学園疋田さん



昇竜杯は名古屋大学の寺村さん

(写真はすべて上林弘敏さん撮影)